

令和8年度 人間総合科学研究群 カウンセリング学位プログラム
入学試験問題

解答上の注意

1. この問題冊子は、表紙も含めて7頁、問題は3問あります。
2. 問題1、問題2、問題3ともに、所定の答案用紙を使用して下さい。
3. 更紙（何も印刷されていない紙）は下書き用です。
4. それぞれの答案用紙の所定の欄には、必ず、受験番号を記入して下さい。
5. ローマ字・算用数字は1マスに2文字記入して下さい。
その場合も、解答字数は1マスで1文字と数えます。
6. 解答し終わった答案用紙は裏返しにふせて、上から順に、問題1-1、問題1-2、
問題1-3、問題1-4、問題2、問題3となるように机の上に置いて下さい。その他の用紙は、
別にまとめて置いて下さい。
7. 配布された全ての用紙（問題冊子、答案用紙6枚、下書きの更紙1枚）は、一切、
室外に持ち出すことはできません。

問題 1

以下の 7 つの用語について、それぞれ 100 字～200 字の範囲で説明しなさい。

- ① 社会的参照 (social referencing)
- ② 分散分析における交互作用 (interaction in analysis of variance)
- ③ 確証バイアス (confirmation bias)
- ④ 学習性無力感 (learned helplessness)
- ⑤ 統制の所在 (locus of control)
- ⑥ 守秘義務の限界 (limits of confidentiality)
- ⑦ ワーク・エンゲイジメント (work engagement)

問題2

以下の小論を読んで、次の問いに答えなさい。

1. 小論の内容を 200 字以内で要約しなさい。
2. 小論の内容を踏まえながら、科学と哲学のつながりについて、あなたの見解を 400 字以内で述べなさい。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。

著作物にあたるため、この部分は公開できません。

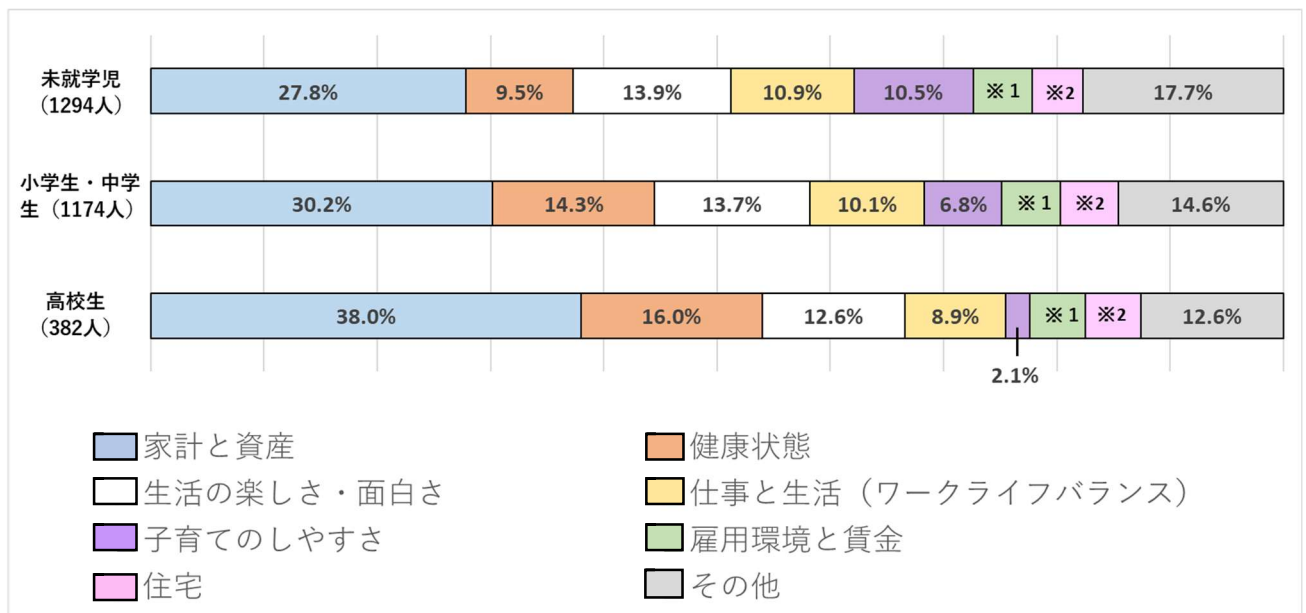
<出典 湯川秀樹（1948）「科学と人間性」 1-4 頁を一部改変>

問題3

下記の調査は、約1万人を対象としたインターネット調査により、総合的な生活満足度や分野別の満足度を多角的に把握したものである。図1、図2は、調査対象のうち、未就学児、小学生・中学生、高校生が世帯にいるかどうかで分類し、65歳以上を除いたデータである。なお子どもが複数いる世帯は、それぞれに重複して計上している。図3は、18歳未満の子どもがいる世帯を対象としたデータである。

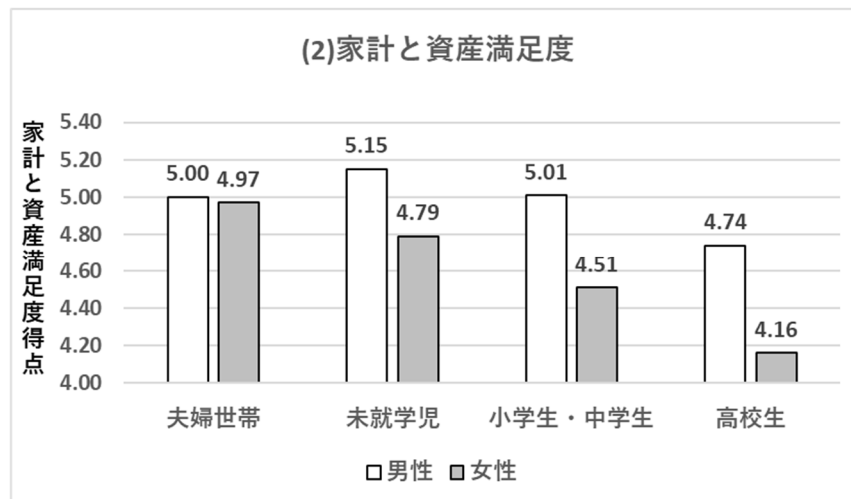
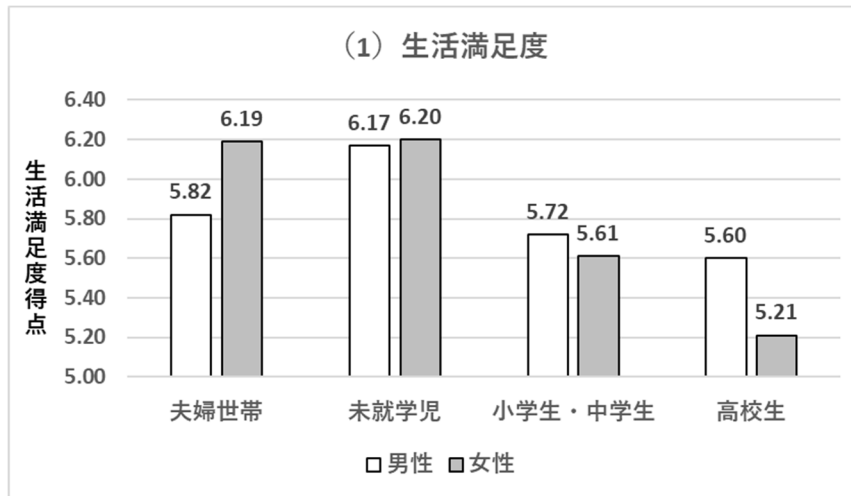
1. 図1、図2、図3から読み取れる、親子をとりまく環境と様々な満足度の関連について300字以内で論じなさい。
2. また、1. で指摘した点について、より詳細に分析するためには、他にどのような調査を行う必要があると考えるか。あなたが必要だと考える調査の方法や対象、項目などについて、300字以内で記述しなさい。

図1 「生活満足度」を判断する際に最も重視する項目



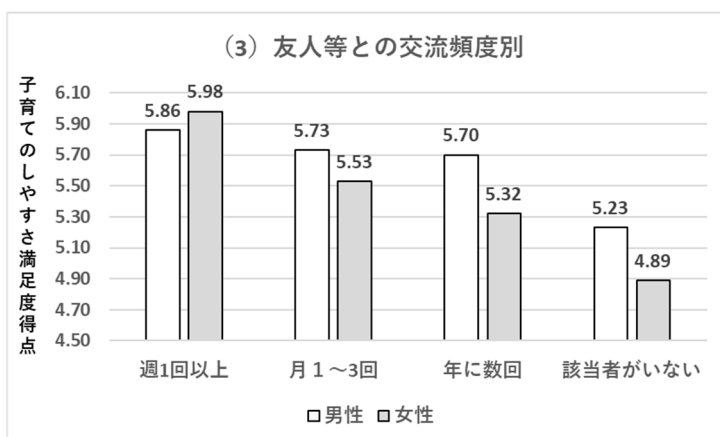
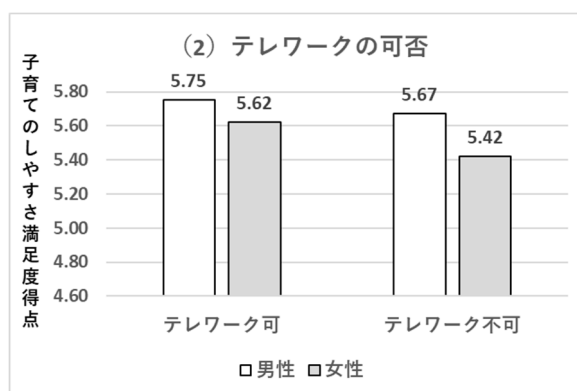
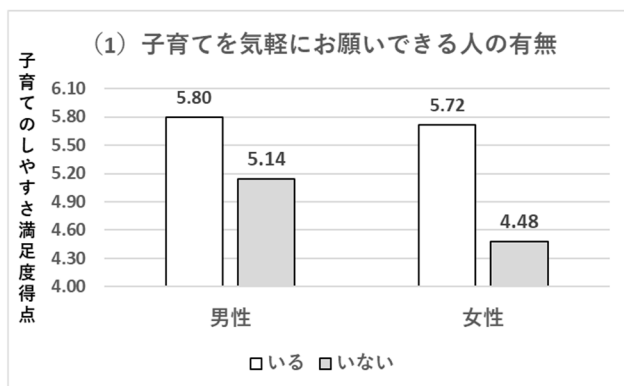
※1, ※2 雇用環境と賃金、住宅の割合に関しては、元の資料に記載がないため掲載していない。

図2 子どもの就学状況と満足度



※軸の最小値・最大値の表記は元のデータを参考に調整している。

図3 「子育てのしやすさ満足度」



※軸の最小値・最大値の表記は元のデータを参考に調整している。

<出典 内閣府 政策統括官(2023)「満足度・生活の質に関する調査報告書 2023～我が国の Well-being の動向～ (概要)」 2頁、7頁を一部改変>